

NO	委員名	意見	対応	記載内容等
新かながわランドデザイン（仮称）実施計画 素案（案）について				
1	小出委員	指標と指標（K P I）がぶつかり合っていて、分かりにくい。ゴール指標。K P IとK G Iで分けた方がよいのではないか。例えば、指標は目標達成指標がよいのではないか。	実施計画（案）に反映しました。	各プロジェクトの指標にカッコで説明分を記載 指標（プロジェクトの達成度を象徴的に表す数値。）
2	小出委員	K P IがK G Iに繋がる検証ができているのか。既に100%に近い実績があるものがある。高いレベルに継続される必要はあるが、K P Iとしてふさわしいのか。非常に上がり幅が少ないものもある。4年掛けてK P Iとしてはふさわしくないのではないか。	実施計画（案）に反映しました。	プロジェクトのねらいと構成施策、取組内容の関係を示すロジックモデルの凡例を示す（P 9・10）とともに、全プロジェクトのロジックモデル図を参考資料に加える予定です。  また、一部のK P Iについては、総合計画審議会及び県議会での議論を受け数値目標の見直しを行いました。
3	田中委員	指標とK P Iが分かりづらい。K P Iが甘すぎる印象がある。	実施計画（案）に反映しました。	プロジェクトのねらいと構成施策、取組内容の関係を示すロジックモデルの凡例を示す（P 9・10）とともに、全プロジェクトのロジックモデル図を参考資料に加える予定です。  また、一部のK P Iについては、総合計画審議会及び県議会での議論を受け数値目標の見直しを行いました。

NO	委員名	意見	対応	記載内容等
4	小出委員	P J 2「教育」の具体的な取組の中で『「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うことが勉強の役に立つ」と思う割合（公立小・中）』をKPIに設定しているが、94.8%から95%にしていくのに意味があるのか。もちろん維持することは重要であるが。それをKPIとして追っかける意味があるのか。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	調査対象の児童・生徒が毎年度入れ替わること、ICT機器の技術革新への対応等が必要になることから、毎年度95%の割合を達成するためには、不断の努力が必要であり、KPIとして進捗管理をする意義があると考えています。(P16)
5	瀧委員	指標とKPIについて、付属資料に考え方が書かれているが、県民目線で27年の数字がこれでいいのか分かりにくい。27年の数字、最終的にはどこまで目指していて、27年がどこにあたるのか知りたい。バックキャストがあると分かりやすくなる。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	なお、一部の指標・KPIについては、バックキャストの考えを反映しています。(P29脱炭素)
6	小林委員	アウトカムをどう評価して、どう政策にフィードバックするのが大事。どういうアウトカムをねらってやるのか、どういう体制で評価していくのかの記載があると、マネジメントできるのではないか。	実施計画（案）に反映しました。	<「計画推進」「2計画の進行管理」>(P121) ※政策評価は、 <u>附属機関である総合計画審議会の審議を踏まえ、実施します。</u>
7	関委員	KPIの見直しが十分に行われてきたのか。変化する将来像を想定し得ない事態、パンデミックを受け、Pに力を入れる。数年を掛けてKPIを見直す体制を築いていただきたい。	実施計画（案）に反映しました。	<「計画推進」「2計画の進行管理」>(P121) ※政策評価は、 <u>附属機関である総合計画審議会の審議を踏まえ、実施します。</u>
8	鈴木委員	個別計画・指針があるが、県民から見て分かりづらい。	実施計画（案）に反映しました。	<「計画推進」「3個別計画指針」>(P122) 各個別計画の右端に計画期間を記載しました。